

寺報二十号をお届けします。年四回発行しておりますので、五年経ったこととなります。皆さまの反響により続けられました。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

なぜお寺では正座をするの？

法要の時に、皆さまになるべく正座をするようお勧めしています。しかし、皆さまの普段の生活ではもう正座をする機会などあまりないのではないでしょうか。畳の部屋も少なくなり、椅子生活が主かと思ひます。

では、なぜお寺では正座をお勧めするのでしょうか。

その理由は本堂のつくりにあります。本堂は、極楽浄土を皆様に目に見

える形としてお伝えするよう造られています。皆さまが正座をしたときに、ちように阿弥陀さまと目が合うようになっていくのです。その阿弥陀さまは、今まさに私のもとに歩み寄ってください。阿弥陀さまが立っている須弥壇（しみだん）は、かつてインドで世界の中心と考えられていたシヌメール山（ヒマラヤ）をあらわしています。また欄間（らんま）に瑞雲や法輪、浄土の池（『蜘蛛の糸』の話の中で糸を垂らした池）に咲く蓮の花。香炉の乗っている卓（じよく）には麒麟（キリン）。仏法を守る神獣（しんじゆ）がいます。

今度お参りなされた時には、ぜひ確かめてみてください。

法要は、仏さまになられた皆さまのご先祖や仏さまにしてください。阿弥陀さまが、その極楽浄土から私たちに話しかけておられるすがたなのです。お坊さんは皆さまに背を向けてかぶりつきで仏さまのご法話を聞きながら、

仮に仏さまの代わりに声を出しているにすぎません。仏さまの優しい眼差しを感じながら法要に参加いただけたらと思います。

もちろん足の悪い方は椅子をお使いいただいて結構です。足がしびれるのが辛い方には、座椅子が用意してございます。ぜひお使いください。

京都の本山 東本願寺（真宗本廟）でもぜひ同じように、一度正座でお参りしてみてください。阿弥陀堂の阿弥陀さま、御影堂の親鸞さまたちの眼差しを感じられることと思ひます。



第三回 お寺で落語

去る十二月十一日に「第三回 お寺で落語」が行われました。

今年も金原亭伯楽（きんげん ていはくらく）師匠においでいただき、「子はかすがい（子別れ 下）」を演じました。

当日は小さなお子様も参加なさって、落語の起源から「落」とし「ばなし」と「ダジャレ」の違いなどのお話もありました。住職からは「許しについて」をテーマにお話し致しました。

また来年も、開催を予定しております。皆さまのおいでを楽しみにしております。



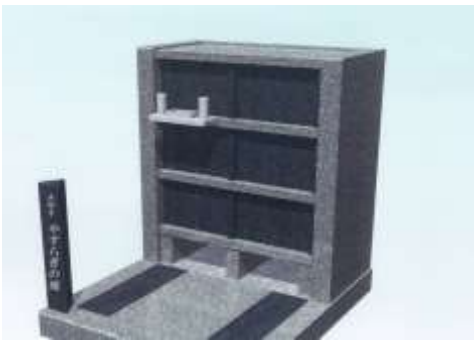
地域の方の参加も多く盛会となりました

個別永代墓（家族墓）

今春、新規に「個別永代墓」を建設予定です。

今まで正徳寺では、代々受け継いでいく一般墓、継承せず一代のみお参りする夫婦墓、合祀し寺でお参りしていく永代墓のご案内をしてまいりましたが、現代の家事情に寄り添いご家族のみでお使いいただくお墓をご用意することにいたしました、

工事期間は通行のご迷惑になることもあるかと思えます、ご協力をお願い申し上げます。



2017年3月 完成予定図です

★春彼岸

三月十七日（金）～二十三日（木）

★インターネットでも、不定期に行事やイベントの予定をお伝えしています。

・住職ツイッター @syaku_rikun

・正徳寺ホームページ

Facebook 真宗大谷派日夜山正徳寺

▼ご法事をおつとめになる方は

(1) まず寺に都合をお問い合わせください。

とくに土曜日・日曜日などは混み合いますので、お早めにご連絡ください。

(2) ご法事参加の人数を、ご法事の一週間前までにお知らせください。

お願い…お葬儀をおつとめになる方は、日程が決まる前にお寺にご連絡ください。他の方のお約束が入っており、先に決められた日程ではお受けできない場合がございます。よろしくお願ひいたします。

★声明会（お経の練習会）

毎月最終土曜日 午後三時～四時半

要予約（急な法務等で変更あり）

参加費 500円/回

稽古本「真宗大谷派勤行集」（赤本）

450円

次回は 一月二十八日（土）新年会

二月二十五日（土）

三月二十五日（土）

ご参加される方は、前もってご連絡ください。

電話 03 (3471) 3938

shoutoku-ji@pal.dti.ne.jp

■当寺の宗旨は 真宗大谷派です。

■ご本尊は阿弥陀如来です。

■宗祖は親鸞聖人です。

■京都駅前通りの烏丸七条にある

真宗本廟（東本願寺）を本山とします。

■教えの要点は、

阿弥陀如来のすべての人を救うという

ご本願を信じて、南無阿弥陀仏と称えて、

感謝報恩の生活をおくることにあります。